

西部特集
地方創生九州
2015

拡大するアジア展開



「特区ガイド」の研修では観光案内の実務も学ぶ(唐津神社で)

観光客をはじめ、訪日外国人の受け入れ(インバウンド)でも九州は力を注いでいる。九州全域を「九州アジア観光アイランド総合特区」に指定されており、地理的に近いアジアからの訪日客の取り込みは、特に大きな命題だ。

観光

九州では独自の外国人向け通訳案内士「特区ガイド」制度を運用中。特区の規制緩和を活用したもの。本来、有償の通訳案内には国家資格が必要だが、独自に定められた

通訳ガイド増強

「特区」活用し盛り上げ

海や近郊の旅行会社と連携し、双方方向観光交流の拡大に向けて覚書を締結。旅行会社による九州向け旅行商品の積極的な開発に期待する。大手交通事業者も対応を強化する。西日本鉄道はこの1月にJTBと提携し、インバウンド向け観光コンテンツとサービス拡充を強化する。3月からはJTBの訪日旅行オンライン予約サイトで九州の特集ページを設けてバスツアーの販売を始めた。また福岡市内の高速バス拠点「西鉄天神バスターミナル」では外国語対応の案内窓口を新設。この3月2日には大規模改装の完了に合わせて「バスターミナル」から外国人にわかりやすい「バスターミナル」にも変

JR九州の豪華クルーズ列車「なつ星1」も外国人客の取り込みに向けて、海外のツアー会社の販売契約を加速している。九州観光の大きな目玉として、訴求力を高める。また訪日外国人観光客向けフリーパス「JR九州レールパス」も、海外での発売窓口を増やしている。このほか、九州各地域において無料のWiFiの整備が進んでいるほか、地域の食品を活用した土産物の開発も盛んだ。また、インドネシアやマレーシアなどイスラム圏の観光客に対応するハラール食品の開発や研究も広がっている。

製造業

2014年から対ドルの為替相場が円安基調になったことで、製造業の国内回帰の動きが出てきた。だがアジア生産の優位性は依然として高い部分もあるほか、市場としてアジアは、今後ますます位置付けが高まっていく。

生産拠点として 市場として

メンテナンス体制も拡充

リョーウ(福岡県田町)は中国・大連市に、油圧機器のメンテナンス事業を手がける現地法人を設けた。日系企業向けのほか、現地で慢性的に不足している機械工具の販売も行う。海外売上高を現在の500万円程度から、3年以内に1億円まで引き上げる。

アジアでネットワークを構築中なのは亀山電機(長崎市)。タイとインドネシアでプラント自動化事業の保守体制を設ける狙いだ。日本企業から受注したプラント設備の保守保全業務を委託する。今後、パートナー企業との代理店契約や現地拠点設置などを経て、5年後に東南アジア地域だけで年間1億円売り上げを目指す。

インフラ



タカギは水処理システムでアジアを深耕

大きな伸びが期待されるインフラ関連での進出も、事業強化も目立つ。電力を入れる。タイの拠点力関連機器では戸上電機に日本人責任者を配置し、製作所が、高圧閉鎖器などの販売でアジア展開に力を入れる。タイの拠点力関連機器では戸上電機に日本人責任者を配置し、製作所が、高圧閉鎖器などの販売でアジア展開に力を入れる。タイの拠点力関連機器では戸上電機に日本人責任者を配置し、製作所が、高圧閉鎖器などの販売でアジア展開に力を入れる。

東南アジア全体の市場調査を進める。営業戦略として「チャイナ・ブラサルパ」を中期経営計画に掲げており、中国以外での市場拡大を進める。タカギ(北九州市小倉南区)は、ベトナムでビル用浄水システムの販売を始める。同国に工場を保有しているが、海外で浄水システムを発売するのは同社初だ。重金属や大腸菌など、水道水を飲用できない地域が多いことから、小型・低価格の「フィルトレーション」膜で濾過する。ベトナムで事業を軌道に乗せて、タイやインドネシアなどにも販売していく。土木分野では大連(福建)に

タイへ、ベトナムへ

東南アジア全体 視野に



大連によるラオスの貯水槽工事。岡市早良区)が東南アジア事業を本格化する。建設コンサルタントが手がけており、14年7月にラオスで雨水貯水槽の施工案件が完了。今後はラオスやインドネシア、インドにおいて、実績を基に日本の建設会社などに向けて営業を強化する。

食品

五洋食品産業はタイのスリファと提携

食品分野においても、進出は進む。第一交通産業はミャンマーで水産加工業に乗り出す。ウナギやスズキといった日本で需要の高い水産物を加工して輸出する。現地ではすでに進出している外国企業により、ウナギの乱獲や安全性の懸念がある。そこで日本企業による良識的な経営で、現地政府から信用を得て事業を進める。同社は12年に同国で自動車修理事業に参入。自動車部品販売も展開している。ミャンマーの急速な民主化に合わせた動きで、今回の新事業でさらに収益を積み上げる考えだ。たがみ(長崎市)は、インドネシアでフルーツゼリーの製造販売に乗り出す。この2月に現地合弁会社を設立。3月中旬に販売開始を目指す。都市部で働く中間層以上をターゲットに、事業開始5年後に年間30億円規模の売り上げを目指す。

ミャンマーで水産加工 冷凍ケーキ輸出も

また、五洋食品産業は冷凍ケーキのアジア向け輸出を強化している。14年8月にタイへの輸出を始めた。現地の食品メーカーと連携して、主力のチーズケーキやモンブランなど14種類を販売。同国だけで年間売上高6000万円を目指す。東南アジアでの足かりにするほか、現地生産も視野に入れる。香港企業との業務提携も奏功。「メイド・イン・ジャバンの味」やスズキが評価されている。(同社)ため、今後モアアジア展開の拡大に向けてパートナー企業を探す。

省エネ・環境・低湿空調のリーディングカンパニー 株式会社西部技研

DRY-SAVE
デシカント除湿機

化学吸着剤を使用しない活性シリカによるハニカムローターを世界で初めて開発。様々な素材を用いたローターを搭載した高性能除湿機を次々と商品化しています。

HI-PANEX
イオン吸着式全熱交換器

建物の空気を換気する際の排気エネルギーを回収し、給気側へ供給する省エネルギー機器です。

HONEY-SAVE
機能性ハニカムエレメント

様々な素材のコルゲーション加工・機能材の加持技術で脱臭、除塵、整流、ケミカル除去、オゾン分解などあらゆるニーズに応えたフィルターを創出しています。

SKY-SAVE
VOC濃縮装置/VOC濃縮燃焼装置

疎水性ゼオライトを含浸したハニカムローターに工場等からの排気中の有機溶剤を吸着、濃縮除去することにより後段の燃焼装置等の大幅な負荷低減と省エネルギーを実現する装置です。

次世代材料のパイオニア。未来への跳躍。

古代エジプトで鉄器の製造から始まった粉末冶金技術は人間社会の歴史とともに進化を続けてきました。日本タングステンは、この技術をわが国でいち早く工業化。超合金から電気材料、セラミックスにいたるまでさまざまな高品質の製品を世に送り出してきました。これからも日本タングステン次世代材料のパイオニアとして未来への夢をつないでまいります。

日本タングステンの製品用途

NTダイカッター、特殊金型 切る	多孔質セラミック真空チャック 送る	抵抗溶接電極 つなぐ
アンビルロール オムツやマスクなどの不織布、金属箔などの高速切断が可能!	サブミクロンの気孔径のため、薄物を吸着痕なしで搬送が可能!	直接接合法により熱引きが優れている! 電極の長寿命化やショットサイクルの向上が可能!

商品に関する詳細は弊社ホームページで <http://www.nittan.co.jp/>